

令和4年度予算に対する

各会派の見解

更なる改革を進め、区民福祉の向上を

立憲民主党・無所属議員団

新年度予算は、コロナ対策や区民の活動を力強く再開するための支援策、更には、昨年新たに策定された中野区基本構想と基本計画を実現するための予算であり、コロナ禍において「区民の命と生活」を守るために必要不可欠な予算であると評価する。歳入一般財源は前年度比91億円増の803億円と過去最高となった。区財政を取り巻く環境は予断を許さないが、コロナ禍において様々な分野で行政ニーズが増加する中、区民生活に寄り添った柔軟な対応を求める。

また、歳出では、新型コロナ対策と区が重点的に取り組む「子育て先進区の実現」「地域包括ケア体制の実現」活動の3つを重点プロジェクトに係る予算が計上されており、今後の取組を期待する。個別の施策では、子どもの体験活動の拡充、町会・自治会活動推進助成、養育費の取り決めに係る費用補助、(仮称)公契約条例の推進、産前・産後ケアの拡充、一時預かりの拡充、プレイパーク活動団体等支援、脱炭素社会実現に向けた事業、DX推進、商店街活性化支援、これらの取組については我が会派として強く要望してきたものがあり、区の姿勢を評価する。コロナ禍の今ほど区長の強いリーダーシップが求められる時はない。区長ならびに区職員のお一人一層の奮起を期待する。

革新区政にNO!

自由民主党議員団

これまで我が会派は、ロシアのウクライナ侵略、新型コロナウイルス感染症など、国内外における新たな緊急事態に備えるため、歳入が予想を上回る場合には、基金に積み立て、将来にわたり、安定した財政運営を確保するよう求めてまいりました。

しかし、新年度予算は、財政悪化に備え、財布の紐を締めると言いつつ、青天井に歳出予算を編成しており、理解に苦しみます。力強く進めるとした構造改革の財源効果は皆無です。

区民の抱えている課題を解決するための予算となっているか疑問が残ります。無条件に予算を積み上げた結果、予算全体を膨らませることになり、老

朽化が進んでいる小中学校の建て替え計画や、公園再整備など中長期的な観点をもって進めなければならない計画が破綻する危惧があります。

過去に、このような予算編成は例がなく、ごく限られた関係者のみが利するようないかなる公共性がないバラマキ予算であるという判断に至り、当初予算案の反対に踏み切りました。

賛成多数で予算は成立されましたが、今後の予算の執行においては、改めて真に区民に必要な予算・事業となっていくのかチェックしていきます。これからも区民の生命、財産を守るため、特に新型コロナウイルス感染症への対応を厳しく区政へ求めてまいります。

区民と議会への理解を図る予算執行を

公明党議員団

新型コロナウイルス感染症拡大が区民生活を脅かす中で、我が会派は区民の生命、健康、生活を守ることに注力し、区民の多くの声に耳を傾け、区に対して要望を重ねてきました。PCR検査やワクチン接種体制の確保、自宅療養者への支援、乗り合いタクシー等による新交通システム導入、子どもの権利条例制定、食品ロス削減推進計画策定など我が会派が要望した事業も数多く盛り込まれました。医療従事者などの皆様をはじめ、感染対策に関わる多くの方々の奮闘にこたえるためにも、区政を停滞させることはできません。

令和4年度一般会計予算は、前年度と比べ106億円余、7.3%の増となり、過去最大規模となりました。景気の先行きは不透明で、より緊張感を持った区政運営が求められながらも、年々増加する経常経費は区長選を意識してか、さらに大きく膨らんでいます。議会の意思、区民への説明が反映されにくい事業も散見されました。特に児童館廃止条例を議会が否決したことを無視するような事業、商工会館跡地活用の近隣住民への説明が不足したまま公募を進めることは慎むべきです。

令和4年度予算には、我が会派の提案と同僚議員の賛同をいただき、議会から3つの意見が付けられました。この意見を厳しく受け止めて、新年度の予算執行にあたることを肝要です。

子育て先進区の実現へ確かな歩みを

日本共産党議員団

一般会計予算は、策定された基本計画に基づき編成・提案されました。子育て先進区の実現へ大きな一歩です。子どもの権利に関する条例により、子どもを権利主体として、子ども施策・事業が実施されることを期待します。

学習支援と子ども食堂支援の拡充、教育相談体制の充実、学校図書新書購入等々を評価します。4月に児童相談所を開設。相談事業や虐待の未然防止と早期の発見・対応が一層求められます。

児童館での乳幼児親子対象に日曜開放や遊具のリニューアル、新規にプレイパーク活動団体支援も始まります。作成された地域包括ケア総合アクションプランでは、対象を全世代に広げ

アウトリーチ活動推進等、包括的な支援を目指しているのも重要です。ひきこもり支援事業を社会福祉協議会と協働して構築します。新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種やPCR検査等の実施、感染者の病床確保や自宅療養者支援、区内中小企業者への資金調達支援等も引き続き取組を行います。

高断熱窓・ドア助成の実施や木造住宅耐震化事業を区内全域に拡大することも、脱炭素社会と災害対策に貢献するものです。更に、平和・人権及び文化芸術の推進に寄与し、区民要求に応えた予算となりました。

区民に対する施策削減と負担増がなかったことも高く評価します。

区議会だよりへのご意見、ご感想、ご要望などありましたら、今後の参考にさせていただきますので、郵送・電話・FAX・Eメールなどでお気軽に区議会事務局までご連絡ください。



〒164-8501 中野区中野4-8-1
 電話 03-3228-5585
 FAX 03-3228-5693
 Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp